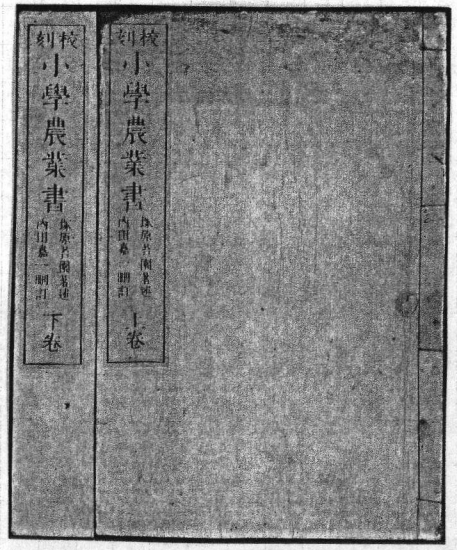


塚原澁柿園 つかはら しほがら 小説家。嘉永元年二月一日江戸生れ、大正六年七月五日歿（八四六一九七）。本名靖 しんや、幼名直太郎。筆名しおま、しほし、しほし、しほし園、なほがし、一心居士、一七庵、一七生、十四庵、塚原柿叟、塚原澁柿、塚原澁柿、塚原苔園、時江叟、柿叟、柄原、澁柿、澁柿園、澁柿園の隠居霧豹、澁柿園主、澁柿園主人、澁柿園生、澁柿、澁翁、縦死、自由思園、自由思庵、苔の崖一心、苔の崖主人、苔園、苔廬崖一心、蓼州、蓼洲、蓼生、霧豹隱居等。沼津兵學校、靜岡醫學校等、洋學を修むる。『横濱毎日新聞』を経て明治十一年『東京日日新聞』入社。爾來多く同紙に歴史小説を執筆。作『澁柿叢書』（明治四十一年十一月二十一日博文館『名家小説文庫』）、『澁柿集』全二冊（上編・明治四十五年一月一日、下編・四月十八日春陽堂）がある。

著譯書、愈退之 著 『劉唐宋八大家文讀本』（塚原苔園名、訓點、明治十一年十一月十五日自版、和泉屋孝之助・群博文堂銅吉發兌）、『小學農業書』全二冊（同、内田嘉一刪訂、二刻・明治十五年五月、第一刻・十七年十月、第二刻博文堂）、『新體讀万書（卷四の上）』（同、撰、明治二十年二月、阪前川書房）、  
 ビーコンヌノ井ール下作『昆虫動物語・上篇』（本名、福地源一郎共譯、明治二十一年十一月七日藏王堂）、

『増訂江戸沿革私記』（塚原蓼洲・霧豹隱居名、明治二十二年九月、千五  
 日文海堂）、『山中源左衛門』（明治二十七年一月、日春陽堂）、『阿



秋』(明治)二十八年十一月十六日春陽堂)、 『最上川』(明治)二十八年十一月十六日春陽堂)、 『淨瑠璃坂』(明治)二十九年一月二十五日春陽堂)、 『伊達政宗』(明治)三十年十一月四日春陽堂)、 『これ醫者』(なにかし名、明治)二十四年十月十六日春陽堂)、 『ゴリ作』 『蠻勇』(澁田流星共譯、明治)二十六年十月十七日新聲社)、 『大石良雄』全二冊(前編・明治)二十九年七月二十三日、後篇・十月二十日隆文館)、 『大鴉逸平』全二冊(上篇・明治)四十年十一月十四日、下篇・二十五日左久良書房 『澁柳叢書』)、 『葵と桐』全二冊(上篇・明治)四十年十一月二十四日、下篇・二十六日左久良書房 『澁柳叢書』)、 『木村重成』(明治)四十年十二月十八日左久良書房 『澁柳叢書』)、 『石堂兄弟』(明治)四十一年一月五日如山堂書店)、 『加藤清正』(明治)四十一年九月二十一日左久良書房 『澁柳叢書』)、 『桶狭間役』(明治)四十四年一月一日厚生堂 『通俗日本戰史』)、 『戀の秀吉』(明治)四十五年五月十二日博文館)、 『趣味大江戸』(合著・江戸研究会編、大正)二年十月二十四日大澤書房)、 『幡隨院長共衛』(大正)二年四月二十四日博文館)、 『元祿義憤録』全三冊(大正)五年四月十五日平山勝熊刊、大日本國民學會發賣)、 『狐城』 『哀史』 『淀の落月』(復讐第一版、大正)十四年一月十八日内外出版協會)等。

